

造影CT 検査を受けられる患者さまで、糖尿病薬を服用している方へ

糖尿病薬のうち、ビグアナイド系の糖尿病薬(下記一覧表参照)を服用している方の場合、頻度としては稀ですが、造影CT検査後に、乳酸アシドーシスという重篤な副作用が起こることがあります。乳酸アシドーシスとは、初期症状として食欲不振、嘔気・嘔吐、腹痛、下痢などの胃腸症状が急激に出現し、進行すると倦怠感、筋肉痛・痙攣、脱力感、腰痛、胸痛、過呼吸、脱水、低血圧などを引き起こし、昏睡状態に陥ることもあります。

万一の副作用を防止するため、ビグアナイド系の糖尿病薬を服用している方は、原則として、検査前48時間から検査当日までは服用せず、検査後も48時間は服用なさらないでください。この間これらの糖尿病薬を服用しないことにより血糖値が一時的に上昇する可能性がありますので、この用紙を持参するなどして、処方医にご報告し、許可をいただいております。

服用している糖尿病薬がビグアナイド系の糖尿病薬であるのか否かが分からない場合や、腎機能が低下しているか否かが分からない場合は、この用紙を持参するなどして、処方医にご相談なさってください。休業いただいた場合は、下記の商品名を○で囲って、2つ目の口にチェックを入れて、休業開始日を記入しておいてください

この用紙は、検査日に必ずご持参ください

ビグアナイド系糖尿病薬一覧

一般名	商品名
メトホルミン塩酸塩	グリコラン、メデット、メルビン ネルビス、メグルコ、メトホルミン塩酸塩「トーフ」 メトリオン
ブホルミン塩酸塩	ジベトス、ジベトンS、塩酸ブホルミン「ミタ」
ピオグリタゾン塩酸塩／ メトホルミン塩酸塩(配合薬)	メタクト配合錠LD、メタクト配合錠HD

患者さまへ

次の期間休業してください。 年 月 日 ~ 年 月 日

患者さまから

次の日付より、休業しています。 年 月 日~

ビグアナイド系の糖尿病薬は処方されていませんでした。

お名前

上記服用が継続されている場合、造影検査を中止する場合がございます

裾野赤十字病院 TEL 055-992-0008

裾野赤十字病院 2023年7月 改訂